

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 36号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますの  
で宜しくお願いします）

---

—★ News Topics ★—

- [1. MEC 製品情報] 新商品！ 脱炭素化！充電式パワーユニット搭載ポンプ
  - [2. MEC 用途情報] 4吋エンジンポンプで貝堀漁とは！！？
  - [3. MEC 資材管理部発信] 海外からのサプライヤを少しご紹介しますよ
  - [4. MEC 営業部発信] こんなポンプが有る事をご存じですか？ それってどんなもん？？
- 

---

☆☆—————★☆☆

MEC 製品情報：テーマはエコフレンドリー＝脱炭素！充電型パワーユニット搭載の新しい  
ポンプ

---

☆☆

見出しのとおり、今回はエコフレンドリーな新製品のご紹介です。

環境への配慮というのは以前よりずっと云われてきたわけですが、昨今取り沙汰されてい  
るのは「化石燃料からの脱却に

よる脱炭素」かと思います。

自動車業界の動向を見ますとより身近に感じられるかと思いますが、各社電気自動車(EV)  
への移行を急いでいます。

さてそんな潮流の中、たかがポンプされどポンプ！というわけで、昔からあるポンプもそう  
いった変容に出来るだけ対応

して行きたい！というのが私たちメーカーの思いです。そこで、この度は本田技研工業が開  
発したリチウムイオンバッテリー

+モーターで駆動するパワーユニット eGX を搭載した 2 インチトラッシュポンプ【QP-  
2TeGX】を紹介させていただきます。

まずはカタログをご覧ください！

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/PDS002412.pdf>

細かい事はさて置き、見た目からして今までの製品とはちょっと違うな！と感じて頂けた

のではないのでしょうか？

エンジン駆動とは違う特徴を簡単に3つご紹介します。

- ①簡単スタート/ストップ
- ②排ガスゼロで安心・臭くない！
- ③実はめっちゃ静か！

【脱炭素】の一助を担うと共に、バッテリー駆動ならではの上記の特徴が活きるご使用シーンがあるはずと営業チーム全員で模索中です。

例えば、災害の際には「より安全」で「非常に静か」なポンプが役立つのでは！？と防災関係業界へは既に宣伝を始めました！

一方社内では、新しいタイプの製品だ！という事で工場の製造スタッフをメインの対象に、技術部による勉強会が開催されました。

初めてみる形状のフレーム、または素材にユニット…、すぐさま製造スタッフからは質問が飛び交い喧々譁々の様相を呈していきます。

最終的には皆十分理解出来たようで、新製品の量産を前に胸躍らせながら閉会となりました。

★【勉強会の様子↓】

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/STUDY.MEETING-for-QP-2TeGX.pdf>

この記事を見てちょっと気になった方、是非担当の営業スタッフへご連絡ください！

(営業部 中瀬記)

☆☆—————☆☆

製品用途紹介 : 4吋エンジンポンプで貝堀漁！

—————☆☆

三重県には弊社の工場がありますが、同じく三重県内の鈴鹿市白子漁港では昔から弊社の4吋エンジンポンプ『QP-402』をご愛顧頂いております。

用途としては二枚貝の貝堀り用に漁師さん方に使われております。

今年実際にどんな使われ方をしているのか、また使い勝手等のご意見を頂く為に白子漁港に訪問し、販売していただいる鉄工所様と漁師さん達に

色々インタビューさせて頂きました。貝堀漁はアサリがメインで他にもバカガイやトリガイが獲れるそうです。

かつて昔、三重県ではアサリの水揚げが1万トン以上の漁獲量を誇った時代があった様ですが環境の変化から一時期は数トンまで低迷し、三重県内の主要産地としてほぼ唯一残ったのが鈴鹿市で、2021年以降は数百トン台を維持しているそうです。実際の漁は4月～7月迄の4ヶ月の間だけで、産卵期の漁を避けるなどで4年前からは1日の漁獲量を1人あたり45キロに制限したり、海底を耕して生き物が生息しやすい環境を作り出したり資源保全に向けた取り組みが進んでいるようです。アサリっておいしいですよ。何故こんなに出汁がでるのって位の旨味があり私は大好きです。特にパスタのボンゴレビアンコなんか良いですよ。こうやって美味しく頂けるのもこういった取り組みがあってこそなんだと実感します。

そして実際の使用方法ですが、ポンプを使っているのでポンプの吸引で掃除機のように貝を吸込むと思った方！すみません。それはハズレです。流石にポンプ内で貝がズタズタになってしまいます。現在の方法はカゴを沈めて船で引っ張りながら貝をすくうのですが、カゴの下部に水を噴射するノズルがつけられております。ポンプの吐出口からホースを接続しそのノズルのついた管に接続、吐出口から送られてきた水を噴射し貝がフワッと舞うのをカゴで捕獲するというもの。そして実際にポンプを販売いただいている鉄工所様がこの漁獲するカゴとノズル等一式を試行錯誤工夫されながら製作されています。

★使用参考資料写真はこちら↓↓↓↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/use-information-SUZUKA.pdf>

少し真面目な記事になりましたが、この様に現場を見学させて頂く機会があるとまさに『百聞は一見に如かず』使い方も様々で皆さん本当に工夫されているなと思いますし、毎回、本当に勉強になるなと思います。また面白い用途があれば紹介させて頂きます！！

(営業部 和田記)

☆☆—————☆☆

MEC 資材管理部発信：海外からサプライヤが来社しました！！

—————☆☆

弊社の海外調達歴史はユニークで、創業間もない1989年にインドのサプライヤと取引開始したのが始まりです。

そのサプライヤがまだ小さな会社だった頃に MEC に売り込みしてきたのがキッカケでした。

最初のうちは品質も不安定で苦勞も多かったですが、こちらの指導の甲斐もあってどんどん力をつけ、今ではインド有数の企業グループに成長しています。ポンプのモデル切替などにより10年ほど前に取引は終了しましたが、この会社とは現在も交流は続いています。

この7月に多気工場に来社した中国のサプライヤも、とてもユニークな会社です。

20代の若者3人が一念発起して立ち上げた貿易会社と、とある縁で2010年から取引が始まりました。英語ができる女性2人とエンジニアの男性1人でスタートした会社ですが、品質管理や貿易実務について MEC が一から教育したと言っても過言ではありません。

私も以前は毎年のように中国に出張して、日本のものづくりの考え方を彼らに指導してきました。

勘弁してよ！と思うトラブルもありましたが、彼らの"ひたむきさ"や"学ぶ姿勢"に可能性を感じ、今日まで取引を継続しています。

コロナの影響で中国に行けなくなって5年になり、今年初めに「チケット送るから日本に来なよ」と水を向けたら、15年にわたる取引で初めて、MEC に来てくれたのです。結局彼らは自分達で飛行機を手配して来ました。

★その時の写真がこちら↓（前列白いポロシャツの3名です）

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/SUPPLIER.pdf>

2日間の工場滞在の中でポンプにも触れてもらって、MEC について沢山学んで帰ってもらいました。

今では Zoom や Team といった Web 会議もあり便利になりましたが、やはり Face-to-Face での打ち合わせや実物に触れる機会は欠かせないな、と改めて感じた次第です。今後もサプライヤと共に成長していくことを心がけ、お客様によりよい製品を提供できるように努力していきます。

(資材管理部 三浦記)

☆☆—————☆☆

MEC 営業部発信：こんなポンプが有る事をご存じですか？ それってどんなもん??

—————☆☆

皆さん『エンジンポンプ』と言うと、どんなイメージをお持ちですか??

直ぐに思い浮かべるのは、トコトコトコトコ!というエンジン音で畑や田んぼに水を汲み上げたり、果樹園でスプリンクラーを使って散水したり、或いは工事現場や水害時に大量の汚泥水を排水している姿ではないでしょうか??

でもね、でもね、MECには、一般的なエンジンポンプのイメージでは収まりきらない製品が結構あるのですよ。そこで、『エンジンポンプ』 ソレってなんだ??

クイズをご用意しましたので、チャレンジしてみてください。 尚、全問正解でしたら、担当営業までご一報ください!.....

担当より 『いよっ!! QP マスター!』とお声掛けさせていただきます!

【ソレってなんだ??クイズ】 ※2 択問題です。正しいと思われる製品をクリックしてください

★第一問:

吸い込みスピードの速さは天下一品です!5m揚程で30秒!7mで60秒!!

<\*QP-T205SLT だと思う方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-T205SLT.pdf>

<\*QP-203T だと思う方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-203T.pdf>

★第二問:

防災・非常事態(大水・緊急排水)に備えて!準備万端で憂いなく!! 水の溜まり具合により 自動給排水運転!

<\*QP-3Ti だと思う方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-3TI.pdf>

< \*QP-3TS だと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-3TS.pdf>

★第三問：

大水量で洗浄！洗い流せます！圧力も水量も大きいです！

< \*SCUD AB30 だと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/SCUD.pdf>

< \*QP-T405SLT だと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-T405SLT.pdf>

★第四問：

海水・塩水用に工夫されていて今迄のエンジンポンプと違い、少しは長持ちします～！

< \*QP-303D/Marine だと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/303D-MARINE.pdf>

< QP-PS25/GB131 セルだと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/PS25CELL.pdf>

★第五問：

連続で4時間半の長時間運転が出来て、しかも超静かなエンジンポンプです！

< \*QP-3Ti だと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-3TI...pdf>

< \*QP-3TS だと思っ方は下記クリック>

⇒ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-3TS...pdf>

(営業部 福澤記)

では、今日はここまで！！

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。

また、次回も宜しくお願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。  
(配信停止以外のお問い合わせは、担当営業までお願い致します)

[info@qp-pump.com](mailto:info@qp-pump.com)

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<https://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL : 03-3257-6130

FAX : 03-3257-6129

工 場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

